



学ぼう!SDGs

～みんなで考える世界の目標～

第14回 目標12「つくる責任 つかう責任」

12 つくる責任
つかう責任



目標12「つくる責任 つかう責任」

～持続可能な消費と生産のパターンを確保する～

大量のエネルギーを使い、大量のものを作り、大量に廃棄している現代社会の生産と消費の実像。このままでは環境破壊の規模が計り知れないものになってしまいます。日本の生協は「エシカル消費（ものを買うときにそれが作られる背景をしっかりと考える消費行動）」という考え方を広めてきました。また、食品ロスの量が世界の食糧援助量の約1.7倍もある日本。限りある資源を有効に活用していかなければなりません。

わたしたちができる身近な取り組み

■地球にやさしい商品を選ぼう!

商品にはラベルがついています。地球環境や社会的な影響を抑えた商品につけられたエコラベルなど、さまざまな認証ラベルがあります。わたしたち消費者は買い物をするときにその商品を選ぶことで持続可能な社会の実現に役立つことができます。それぞれのラベルの意味を知ること、その商品がどのように自分の手元に届いたのか、どうして持続可能な社会に役立つのかを理解するきっかけになります。

■リサイクルしよう!

もう着なくなった服や使い古したタオル。身近にある、もう使わないものたちをその後どうしていますか?そのまま処分するのではなく、他に使ってくれる人に譲る、リメイクして違うものとして再利用する、掃除に使うなど、使い道は考えてみると意外とまだまだあるかもしれません。最近では、お菓子の包装紙にメッセージが書けるものや折り紙として楽しく遊ぶことができるものが発売されています。会社や家族、友人などみんなでリサイクルに取り組みましょう。

JAようてい職員が考えるSDGs関連事業

JAようていの 「つくる責任 つかう責任」

- ・GAP認証チェックリストに準じた生産工程管理
- ・残留農薬自主検査による安全性の確認
- ・農産物の安全、安心の確保
- ・廃プラスチックの適正処理
- ・生分解性マルチを使用した作物の生産
- ・土壌診断の活用提案による適正施肥の推進

今後取り組むべき 「つくる責任 つかう責任」

- ・契約栽培を基本とした責任ある取引先の拡充
- ・広報等での安全性の情報提供
- ・GAPの取組拡大
- ・施設のHACCP導入
- ・生分解性マルチ等環境に配慮した資材の普及

参考:「1時間でよくわかるSDGsと協同組合」

「EduTownSDGsわたしたちが創る未来」(<https://sdgs.edutown.jp/Info/goals/goals-12.html>)